

週報

【 No.734 2015/8 第2例会 】

例会日：毎週金曜日
 例会場：碧海信用金庫本店3F
 安城市御幸本町15-1
 TEL: 0566-75-8866
 FAX: 0566-74-5678
 Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp
 HP: http://www.anjo-rc.org

第2880回例会

2016年8月19日(金) 12:30~13:30

司会者：奥田 法行君

ソング：「君が代」「我等の生業」

卓上花：バラ・ワレモッコウ

ニコボックス報告：内藤 教恵さん

ゲスト及びビジター：

ハラダ キョウキ 原田 清幸様 故原田慶三郎さん御長男

2016-2017年度RIテーマ：

「人類に奉仕するロータリー」

安城ロータリークラブ会長方針：

「地域社会に貢献し笑顔を共有しよう ~Let's smile together ~」

- 会長：富岡 里美
- 幹事：戸谷 央
- クラブ会報：中村浩一・稲垣淳・磯谷廣治・山口佳久
- 創立日：S33年1月10日
- RI加盟認証日：S33年2月6日



■ 会長挨拶

富岡 里美会長

Let's smile together 地域社会に貢献し笑顔を共有しよう

お世話になりました。

原田慶三郎君

8月8日 永眠(1935年9月26日生)



1968年12月6日入会
 1992年-1993年(第35回)会長
 2002年-2003年 ガバナー補佐

- ◆ロータリー財団
 ベネファクター
- ◆マルチプル・ボールハリスフェロー
 ボールハリスフェロー
- ◆米山記念奨学生特別寄付者

第60回 安城七夕まつりにて
 2013年8月2日~4日

安城七夕まつり

来場 104万人 金曜日:29万人 土曜日:40万人 日曜日:35万人

チーム「安城RC」も、いっぱいお手伝いしました。ありがとうございました。

三河安城駅に「ひかり」を停めよう!

「願いごとステージ」の受付



安城七夕まつり

チーム「安城RC」も頑張りました。



KATCHの取材

小中学生の部優勝

チーム「Ride On Splash」



風船と「お茶目な」おじ様たち...



報告事項

ランチ同好会 「かも川」



紗奈さん帰国



■ 幹事報告

戸谷 央幹事

1. 例会終了後ホブソズベイ訪問の説明会を行います。
2. 地区大会の登録料をお願いします。
(晩餐会出席及び入会3年未満のメンバー)
3. ゴルフ部会より 9/4の第1回安城コンペの組み合わせ表を配布いたします。登録料をお願いします。
4. 観劇同好会より 劇団四季のリトルマーメイドは、当初の予定では昼食付でしたが、昼食はやめることとなりましたので、チケット代のみ大人¥10800・子ども¥5400です。後日集金いたします。

■ 出席報告

杉本 汎平君

会員	58名
出席義務者	43名
出席	30名
欠席	12名
出席免除者の出席	14名
出席率	78.18%
修正出席率	7月29日 第2878回例会 96.42%

■ イニシエーションスピーチ

中村 浩一君

皆さんこんにちは。本日イニシエーションスピーチをさせていただく中村です。昨年5月に当クラブに入会させていただき、1年3ヶ月が経ちました。その間多くの方々との出会い、沢山の事を学ばせていただきました事は私にとっての財産であり、改めまして入会させていただいた事に感謝申し上げます。

皆様と違って私個人としては安城ロータリークラブに今後も永年に渡り在籍する事は出来ない立場であることは残念ですが、大垣共立銀行安城支店支店長は、引続きメンバーとしていただけたと思いますので、私も在任中は伝統と歴史ある安城ロータリークラブでしっかり活動していきたいと思っております。

私は昭和42年一宮市で生まれました。来年誕生日が来ると丁度50歳になります。現在は隣の江南市に居住しております。

先日の安城七夕まつりは大変盛り上りましたが、私は安城支店に赴任するまでは「日本3大七夕まつり」は仙台・平塚・一宮だと信じきっておりました。しかし色々調べてみますと仙台・平塚・安城が「日本3大七夕まつり」であるということが定説になっているようです。そこで少し安城と一宮の七夕まつりを比較してみたいと思っております。

まつりの始まりは安城が昭和29年で今年が63回、一宮が昭和31年で今年が61回と安城の方が歴史が古く、会期は安城が3日間、一宮が4日間ですが、来場者数は安城が110万人、一宮が130万人と会期を考慮すると安城の方が多く、第55回から名前が変わった安城親善大使は5名で一宮のミス七夕・織物は6名です。

一宮はディズニーパレードをやったり、EXILEが審査員のダンスコンテストを開催しましたが、安城はロータリークラブ主催のDanSpo ANJOミレニアムコンテスト開催し大成功に終わりました。

安城が3大七夕として称されるようになったのは、昭和53年からこだわりの竹飾りを披露することになってからで、竹飾りのストリートが日本一長いと言われており、短冊の数、願いごとに関するイベントの数も日本一だそうです。皆様もご存知の通り現在では「願いごと日本一」をキーワードに日本一の七夕まつり押し上げるべく斬新なイベントを行ってみえるようです。いずれにせよ両方の七夕まつりが市民の活力になればよいと思っております。

私個人の話に戻しますと、趣味は銀行員としてとても部下には話せませんが、巨人にプロレス、ビートルズ、映画鑑賞、旅行にスポーツ観戦、競馬にパチンコ、麻雀、ラーメン食べ歩き等誇れるものは何もございません。その中で唯一自慢できることは、目の前で2度長嶋監督の胸上げを見たことと、ジョンレノン以外のビートルズメンバーのコンサートを生で見たことぐらいです。

部活動も中学時代は卓球部、高校は柔道部、大学はソフトボール部といずれも体育会に所属したものの一貫性がなく私の人生のごとく中途半端なものでした。

大垣共立銀行には平成元年に入行しましたが、当時はバブルの絶頂期でどこの企業を受験しても内定をいただける完全な売り手市場でした。警視庁も郵便局も証券会社もデイラーもすべて内定をいただいております。当時は就職解禁日に学生を拘束しており、私は証券会社に就職するつもりで伊豆のバスツアーに参加しておりました。もしそのまま証券会社に就職していたら、この場に立っていることはありませんでした。名古屋組は4人だけでしたが、当時証券会社に就職するような早稲田や慶応の学生は何をやるにも豪快で驚きの連続でした。彼らにはとても敵わないと思い、自宅に戻りすぐに、一番優しそうで楽そうであった大垣共立銀行の人事部に電話したところ、運良く「あと1~2名なら枠空きがあるので今からすぐ来い」と言われた結果が、この場所に立たせていただいているというような優柔不断な性格の持ち主です。

銀行に入行してからは得意先係・融資係などを経験し安城支店は3店舗の支店長です。安城支店の前は営業推進部の推進役ということで各店舗の目標設定や豊橋の新店舗開設の責任者など大変苦労もしました。おかげさまで安城支店は今年の11月で50周年を迎えることとなります。これも安城ロータリークラブの皆様のご指導、ご協力の賜物と感謝しております。

今年度はクラブ会報委員長という大役に抜擢いただきました、まだまだ未熟な人間ではありますが在任中は、安城ロータリークラブに少しでもお役にたてるようしっかりと務めてまいりたいと思っております。

◆自己紹介と私の仕事について

名前:大坪久乃、生年月日:昭和47年9月5日、独身です。
前職は地元ケーブルテレビ局 キャッチネットワークで営業事務をしていました。
その前は、ミシンが大好き過ぎて洋服の仕立て、お直しを13年しておりました。

所属団体は、安城ロータリークラブの他に安城商工会議所青年部で毎年七夕まつりや安城元気フェスタなどで、「未来」の安城の発展に繋がる地域活性化イベントを目指すとともに安城の「未来」を担う青少年育成の一助とすることを目的として活動しております。

趣味:釣り、旅行、ミュージカル鑑賞、洋裁・手芸



会社概要

所在地は安城市百石町1-1-5です。
空調設備の会社をしております。
創業昭和8年。会社としては昭和43年に設立し今期で49期目となりました。
私が会社を継いでからは6年と9カ月となります。

事業内容

空調全般で得意なものは業務用・設備用・家庭用エアコン、ボイラー、プレハブ冷凍冷蔵庫、循環ろ過器などです。
案件の規模は様々ですが、店舗・オフィス・工場など中小規模の個人事業主様がほとんどで、その中でもパッケージエアコンとルームエアコンの更新工事が多いです。
その他にも、観光ホテル・ビジネスホテルなど建設時の導入から更新工事にも携わらせて頂いております。

取得している資格と経歴

未経験から会社を継ぎましたので1年半掛けてトータル大阪の空調技術訓練校で7カ月間、設計・施工・すべてを卒業しました。

資格は、2級ボイラー技士、第二種電気工事士、冷媒回収技術者、全豊田外来工事(高所感電・作責)登録、その他にも専修学校服飾教員資格や情報処理1級などがあります。

今後も空調設備に関する国家資格をいくつか目指しています。

環境問題については、地球温暖化・オゾン層破壊の原因となるフロン類排出抑制のため業務用のエアコン・冷凍冷蔵庫の所有者には機器及びフロン類の適切な管理が義務付けられています。

10年以上前のエアコン・冷凍冷蔵庫などにはR22と言う冷媒が使用されています。

R22冷媒は2020年には実質、全廃となります。

今後R22冷媒の入手が困難となる可能性が出てきます。

そこで地球温暖化係数の低いR32冷媒使用機器への更新をおすすめしております。

もちろん省エネ効果にもご注目ください。

ご要望に応じ一定の条件に基づいて算出した年間の消費電力量、ランニングコスト及びCO2の削減効果を相対比較として表した提案書の作成なども無料で行っております。

更新費用につきましても、リースでの対応や各種助成金申請のお手伝いもしております。

次にユニットバスについて

エアコンではありませんが、リフォームや新築をご検討している方にヒートショック対策として、約2分で床を30℃に浴室は25℃まで温めるユニットバスがあります。

Ag(銀イオン)で床や排水口周りのヌメリも軽減します。

こちらのユニットバスにつきましては実際に体験もできますので、ご興味のある方は私までお声掛けください。

営業エリアは三河地方が中心となっておりますが、その他の地域につきましてもご相談させて頂いております。

そして昨年、新事業としまして会社の隣にコインランドリー セレーノをオープンさせて頂きました。

今年は、会社の2階に健康サロン・あんじゅを先月オープンさせて頂いております。

髪の毛にお悩みのある方には、植物100%のヘナトリートメントで健康な美しい髪を手に入れる事が出来ます。

キッチンから健康を考えたい方には、安心安全でとんでも体に良いミネラル醗実ドリンク教室で、従来の手づくり酵素ジュースのように手の常用菌で発酵させるものではなくミネラル30種類以上で醗酵させるドリンクを、リーズナブルで簡単に作る事ができます。

光線療法は、なんとなく体調がすぐれない方。症状を根本から緩和させたい方。あまりお薬に頼りたくない方。妊娠出産を希望されてる方などは是非一度体験してみてください。

ヘナトリートメント、ミネラル・醗実ドリンク、光線療法は基礎体温を1℃上げ自然癒力を高めることを目指すサロンです。

以上、自己紹介と私の仕事についてでした。

ご清聴ありがとうございました。

中央精機に勤めて36年

挨拶

今年7月に入会しました中央精機の小林です。
歴史と伝統ある安城ロータリークラブに入会でき、とても光栄に思っています。
これから、私が会社へ入ってから最後に中国に赴任したまでの36年間のお話しをして、私の自己紹介とさせていただきます。色々な国に行かせてもらい、今では良い経験をさせてもらったと感謝しています。

中央精機のグローバル展開

中央精機は主に4つの事業を行っています。スチールホイール、アルミホイールとタクシーなどのLPGタンクの製造、そしてタイヤ組み付けです。
現在では海外6カ国で7つの子会社を展開しております。また、タイヤ組み付けは豊田通商さんと南アフリカ、インドなど海外10カ国に展開しています。
私は主にアルミホイールに23年間、タイヤ組付けに6年間勤めてきました。

入社のきっかけから最初のアメリカまで

私は1980年に中央精機に入社し早くも36年経ちました。何で安城の中央精機なのかと言うと、理由は簡単でした。今から36年前中央精機は、安城と豊田に全部で3つの工場しかありませんでした。従って、転職があっても知れているというのが最大の理由でした。

ところが、10年も経つとアメリカケンタッキーと台湾に工場が建ち、その後タイ、インドネシア、そして中国と徐々にグローバル化が進み、勤務地は一挙に海外に広がりました。そんな中、1990年にアメリカにアルミホイール工場を立ち上げることになりました。赴任ではなく3ヶ月単位の出張でしたが、海外に行ったことが無くとも不安でした。

出張時の環境

当時、長女が生まれたばかりで、3ヶ月後に帰ってくると、どこかの怖いおじさんが来たと思われたのか、しばらくは泣かれてばかりいました。当時はLINEなど無く、家族との連絡は固定電話しかありませんでした。それもとても高額なので、週1回5分くらいしか連絡できませんでした。今のインターネットの環境からは隔世の感があります。その後も、年に1~2回出張があり、そんなことが数年続き、結局小さいときに父親不在みたいな家庭になってしまいました。

当時アメリカは寛容で、会社帰りに一杯飲んで車を運転するということはたびたびでした。しかしその後、日本食屋にパトカーが目を付けて軒並み逮捕されるようになりました。私は幸運にもその頃は日本にいたので、警察の厄介になることはありませんでした。

アメリカの次はインドネシア

次に行ったのがインドネシア。1998年頃です。インドネシアといってもジャカルタではなく、ジャワ島の東側のスラバヤというところ。バリ島には近いですが、バリ島とは天と地でした。

何が困ったかといえば、とにかく物資というか、部品が何も無いことです。ボルト1本も工場に無くて、いちいち町に出て行って金物屋さん巡りをして1日暮れてしまいました。

食あたりの話

インドネシアでは、なかなか日本食にありつけず、週に一度、みんなで行く日本食レストランが一番の楽しみでした。インドネシアに行く前は、みんなから水には気を付けるように言われていました。水割りも氷は入れないようにと言われていました。氷を作る水がもう我々には向かないようです。

同僚が、日本食レストランで冷奴を頼んだのですが、翌日、その人だけお腹を壊しました。何が思い当たるって、その人だけが食べた冷奴しか思い当たりません。冷奴の周りには氷が添えてあったのですね。もう20年近く前の話ですので、今はそんなことはないかもしれませんが、用心に越したことはないと思います。ちなみに日本の正露丸や百草丸は一切効きません。現地で“カーボンタブレット”というバツファリンをふた回りも大きくした真っ黒な墨の固まりがとってもよく効きました。やはり薬は現地のものがよく効きます。

インドネシアの次は中国

2004年に中国の広州にアルミホイール工場を作ることになり、その立ち上げに従事しました。会社は中国の国営企業との合弁になりました。中央精機が60%、相手が40%です。一応出資比率ではイニシアチブを取っていますが、なにせ相手は中国国営です。資本金の4割は中国政府のお金を使うということで、許認可が大変でした。ほとんどの設備を日本から持っていくということで、何でそんな高い設備がいるんだ、中国製の安い設備を使ってくれという要求が強く、政府の審査機関の面々に、日本の設備の先進性やこの設備でないと製品が出来ない理由を何度も説明に行きました。そのときに、報告書にまとめないといけなからといって、パソコンに入っている設備仕様やデータを全部吸い取られてしまいました。よく日本の設備メーカーさんが、中国では1台目は買ってくれるけど、翌年工場に行くと、同じような設備が並んでいると言っていたのですが、これでうちの設備もコピーされてしまうんだと思ったものでした。

中国は立ち上げには携わりましたが、それから数年、私はアルミホイールの部隊からタイヤ組み付けの方に行きましたので、中国とはしばらく縁遠くなっていました。

そしてタイヤ組み付けに行って6年もしたとき、社長から中国に行ってくれと言われ、3年前に中国に赴任することになりました。



中国の会社は、広東省広州市の中心から南に50kmのところにあります。香港までは100kmくらいです。広州市の人口は1,200万人と言われていて、大都会です。

当社の従業員は約400人。半分は他の省からきています。日本の高度成長時代の集団就職のような感じです。湖南省や四川省が多いです。会社は朝ご飯とお昼ご飯を無料で提供します。従業員の要望というか、不平不満の一番はこの食事です。

おいしくない、量が少ないとか、「私は四川省出身で、広東のうす味は食べられない。」とか。そこで給食改善委員会を作って、少しずつ改善しました。でも要求は尽きることがありませんでした。どこの国も食べるのが一番の関心事ですが、もうこの食事については、どこまでいっても満足することのない、永久に続く問題です。

ちなみに、我々日本人も、みんなと同じものを食べていましたが、おいしく食べさせていただきました。これで、ただならそう悪くないなという感じでした。ちなみに、朝ごはんは7元、昼ご飯は14元。当時は1元≒16円ですので、朝は110円、昼は220円です。

最後に

主に設備導入をしていた関係で、その他ドイツ、デンマークやイタリアにも設備の買い付けに行きました。またタイヤ組み付けの関係でタイ、インドやメキシコにも行きました。会社生活36年間、入社した頃は、こんなに海外に行くとは思いませんでした。色々な国の人とお会いでき、楽しい思い出となりました。

以上、各国を体験したお話をさせていただきました。どうもありがとうございました。

平井 弥生さん

